

県 政 協 議 会

平成二十八年七月二十五日(月)

午前十時三十分

- 一、「第一四回日ASEAN次官級交通政策会合」の開催について
- 二、知事のタイ・シンガポール訪問結果について
- 三、農作物の生育状況等について
- 四、県内の経済雇用情勢について
- 五、その他

**「第14回日ASEAN次官級交通政策会合」の開催について**

平成28年7月25日

観光文化スポーツ部

国土交通省が主催する「第14回日ASEAN次官級交通政策会合」及び関連行事が、本日から3日間、本県で開催される。

この会合は、日本とASEANの交通分野における共通の課題について議論し、その解決手段を見出すことを目的に、我が国にASEAN諸国10カ国の交通政策官庁の次官級を招いて開催するものであり、東北では初めての開催である。

県では、タイを中心としたASEAN諸国との交流人口の拡大に力を入れていることから、この会合を活用して本県の持つ観光や文化をPRし、インバウンド展開の弾みにしていきたい。

**1 日程** 平成28年7月25日（月）～7月27日（水）

**2 参加国** ASEAN加盟10カ国  
ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、  
ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

**3 主な内容**

7月25日（月）

- ・県・仙北市主催歓迎セレモニー（秋田内陸縦貫鉄道角館駅）
- ・県主催歓迎レセプション（秋田市）

7月26日（火）

- ・日ASEAN次官級交通政策会合（秋田市）

7月27日（水）

- ・エクスカージョン（運輸関連施設視察）  
電気バス、リゾートしらかみ、秋田運輸支局（車検場）、秋田港周辺施設

## 知事のタイ・シンガポール訪問結果について

平成28年7月25日  
観光文化スポーツ部  
農 林 水 産 部  
産 業 労 働 部  
教 育 庁

6月25日から30日にかけて、知事、県議会議長をはじめ県内4名の市町村長や、貿易団体、金融機関関係者など、計84名がタイ及びシンガポールを訪問し、本県への教育旅行を含む観光誘客やスポーツ交流の促進、県内企業の海外展開支援のため、現地関係機関との意見交換等を行った。

## 1 タイ訪問について

## (1) 訪問結果

- これまで取り組んできた交流事業の加速化を図るため、オール秋田で売り込む集中プロモーションを実施した。

## 【観光分野】

- タイ富裕層の利用が多い、バンコク郊外のモールで日本の自治体としては、初めて本格的なセットを使った秋田フェアを実施し、観光PRを行うとともに、タイの有名俳優タナコーン・ポセーヤノン（愛称ウー）さんに「あきた観光大使」の委嘱状を交付したほか、現地の旅行会社等を対象とした観光セミナーでは、大館市長や仙北市長等と秋田犬や農家民宿などの秋田の魅力を紹介し、旅行商品の造成や販売を依頼した。

## 【農林水産分野】

- 秋田牛については、トップセールスを契機にバンコク市内の高級レストラン6店舗で秋田牛の取扱がスタートし、更に8月からは取扱店が2店舗増える予定である。  
また、秋田フェアにおいての牛串や、秋田・タイ観光交流晚餐会におけるステーキ等の試食提供は、いずれも順番待ちの行列ができるほど大好評であり、今後の販路拡大に手応えを感じた。

## 【海外展開支援分野】

- タイ工業省では、県議会議長、県内貿易関連団体及び企業が産業振興局副局長と意見交換を行い、タイを中心としたアセアン地域における本県企業のビジネス展開の支援等について、今後の継続的な協力を確認した。

- 平成27年8月に設立した「タイ秋田県関連企業支縁ネットワーク」(T-A NET) 交流会では、秋田県訪問団からの企業プレゼンテーション及びタイの支援機関からの講演を行い、タイ進出県内関連企業とタイ進出を目指す県内企業との間で情報交換を進めた。

#### 【スポーツ交流分野】

- タイバドミントン協会と、昨年締結した相互交流に関する基本合意に基づき、美郷町への受入及び2020東京オリンピック事前キャンプ誘致に向けた意見交換を行うなど、相互理解を深めた。

また、タイスポーツ庁では、年度内の包括的なスポーツ交流の基本合意に向けた意見交換を行うとともに、バドミントン以外の事前合宿誘致を要請した。

#### 【教育分野】

- タイのワチュラウッド王立学校及びワタナウィッタヤアカデミーと教育交流についての覚書を締結した。王立学校では、ラグビー等スポーツ交流の推進について提案を受けた。

## (2) 今後の対応

#### 【観光分野】

- タイにおける本県の認知度向上を図るため、「秋田犬」をキラーコンテンツとして、現地メディアやSNS等を通じた情報発信を強化するとともに、農家民宿や教育旅行等の受入態勢の更なる充実を図り、現地旅行会社と協力しながら、本県の特徴を生かした新たな商品の造成や、販売強化に取り組んでいく。

#### 【農林水産分野】

- 秋田牛については、販路の定着とその更なる開拓を図るため、現地のバイヤー等を県内に招聘するとともに、現地での商談会において秋田牛をPRするなど認知度向上に努める。

#### 【海外展開支援分野】

- 平成27年のアセアン東西経済回廊の開通及びアセアン共同体の発足を受け、バンコクに設置している「秋田県東南アジア経済・観光交流連絡デスク」を拠点に、ビジネス展開を目指す本県企業へのサポート体制をより一層充実させていく。

#### 【スポーツ交流分野】

- バドミントンについて、今年度の相互交流として美郷町へ受入を行うなど、事前合宿誘致に結びつけていくとともに、包括的なスポーツ交流の基本合意を目指し、タイスポーツ庁と協議を進めていく。

#### 【教育分野】

- 本年5月には、覚書を締結したタイ各校の職員が秋田を訪問したほか、来年1月に本県の高校生がタイを訪れ、ワタナウィッタヤアカデミー等の生徒と

事前に定めたテーマ研究の合同発表会を行うこととしており、今後、さらなる交流の推進を図っていく。

## 2 シンガポール訪問について

### (1) 訪問結果

- 県と包括連携協定を締結しているフードワークス社の和食レストラン「花蝶シンガポール店」において、県内食材の商談会を開催した。酒蔵や稲庭うどんなどの11社が参加し、現地百貨店のバイヤーやレストランのシェフなど約50人に対し自社商品をPRした。
- 同レストランでの、「秋田メニューフェア（7月1日から7月31日まで）」のキックオフイベントに参加し、在シンガポール大使のほか、現地百貨店バイヤーやシェフなど約150名の来場のもと、県産食品の売り込みと秋田のPRを行った。

### (2) 今後の対応

- シンガポールは、1人あたりの所得も高く、富裕層も多いことに加え、東南アジアでのハブ機能を有することから、「花蝶シンガポール店」と連携し、県産品の輸出促進を積極的に進めていくほか、シンガポール以外のアセアン諸国についても、「花蝶シンガポール店」を拠点に、県産品のPR、販路開拓に取り組んでいく。

## 農作物の生育状況等について

平成28年7月25日  
農 林 水 産 部

## 1 主要農作物の生育状況

これまでの県内の気象は、降水量が平年並、日照時間はやや少なめであったものの、気温が高めに推移したことから、農作物の生育は全般的に順調である。

## 《水 稲》

- 7月15日現在、莖数は平年よりやや少ないものの（平年比95%）、生育は概ね順調である。

## 《野 菜》

- 4月以降、気温が高めに経過し、管理作業も適期に行われたことから、露地野菜・施設野菜とも全般的に生育が順調で、出荷開始時期は平年並となっている。
- 主な野菜では、近年、作付面積が増加している夏ねぎの出荷が7月上旬から始まり、えだまめの極早生品種の出荷も平年並の7月中旬から始まっている。  
夏ねぎ、えだまめともに、販売単価は前年並に推移している。
- 小玉すいかは、6月中旬から順調に出荷が進み、主力の大玉すいかは、平年並の7月中旬から出荷が始まっており、販売単価は前年より4割ほど高く推移している。

## 《果 樹》

- おうとうは、果実の生育も順調で、平年より1週間早い6月15日頃から出荷が始まり、現在、ほぼ終了している。販売単価は、前年よりやや安値であるものの、出荷量が前年を上回っており、販売額は前年並を確保できる見込みである。
- 果実の肥大状況は、りんごの主力品種「ふじ」が平年比112%（横手市）、ももの主力品種「川中島白桃」が平年比115%（鹿角市）で、ともに良好であり、和なしの主力品種「幸水」では平年比102%（潟上市）の平年並となっている。
- ぶどうの開花期は、平年より1週間程度早い6月8日頃で、生育は順調である。

## 《花 き》

- キク類は、7月下旬から8月初旬に出荷が本格化し、また、リンドウについては、平年より3～5日程度早い7月下旬から出荷が本格化する見込みである。

## 2 鹿角地域における降ひょう被害の状況と今後の対応

### (1) これまでの対応

- 果樹では、<sup>みずか</sup>傷果、落果、枝葉の損傷が生じ、生産量の減少や品質低下のほか、病害の発生等による翌年の生産への影響も懸念されることから、被害状況に応じた摘果や病虫害防除等を指導してきている。
- シンテップウユリでは、茎折れ等が発生しており、病虫害防除や追肥等の指導をしてきている。

### (2) 果樹の被害額

- 摘果作業がほぼ終了した7月上旬に、市、JAと連携し現地調査を実施した結果、果樹全体で約1億円の被害額が見込まれる。

(単位：ha・戸・千円・%)

品目名		鹿角市・小坂町		うち被害地区 (十和田大湯・毛馬内地区他・小坂町)			
		栽培面積	生産者	被害面積	生産者	被害額	平均減収率
果	りんご	215	322	41.2	101	61,708	40
	もも	60	181	11.9	57	27,708	64
	ぶどう	14	26	3.2	4	9,513	81
樹	小計	289	529	56.3	162	<b>98,929</b>	
参	花き	10	44	4.3	20	29,985	
	野菜	30	267	2.2	24	1,565	
考	葉たばこ	55	88	3.8	6	1,700	
計		384	928	66.6	212	132,179	

### (3) 今後の対応

- 病虫害や樹勢の状況等を細かく観察し、追加防除と追肥を的確に実施するよう指導を徹底する。
- 果樹、花きの被災農家には新規就農者も多く含まれていることから、そうした担い手が引き続き意欲を持って営農を継続できるよう、病虫害防除の掛かり増し経費等への支援を検討している。

県内の経済雇用情勢について

平成 28 年 7 月 25 日  
産 業 労 働 部

1 概 況

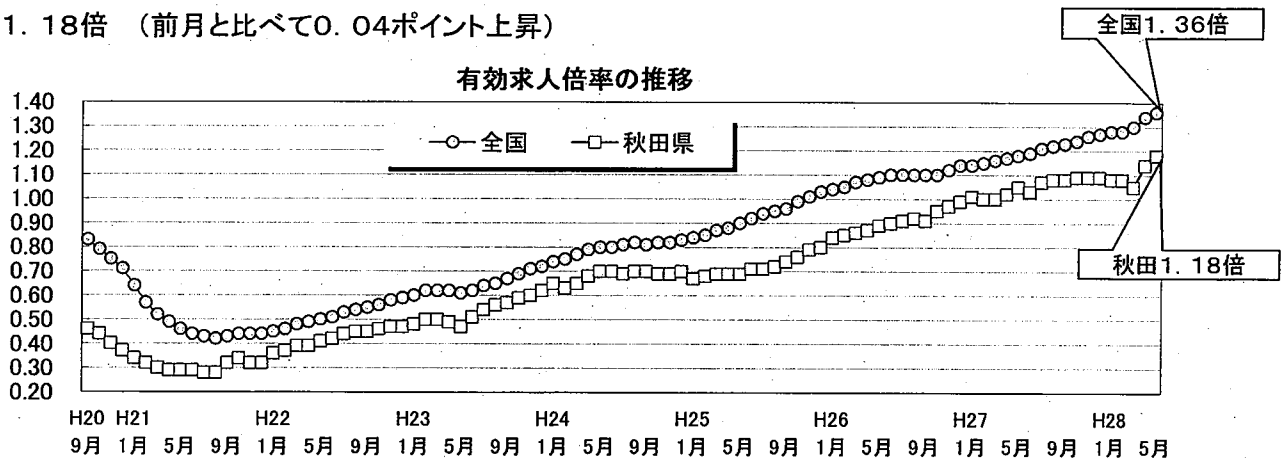
- ・ 県内経済は、個人消費は基調としては堅調に推移し、製造業は全体としては横ばいの動きとなっている。
- ・ 5月の有効求人倍率は1.18倍(前月と比べて0.04ポイント上昇)であり、高水準で推移している。

2 県内経済動向調査結果(平成28年5月分)

- ・ 製 造 業      医療機器など一部で好調に推移しているものの、新興国経済の影響等が引き続きみられ、全体としては横ばいの動きとなっている。
- ・ 建 設 業      公共投資は3か月ぶりに前年同月を下回った。
- ・ 小 売 業      5月前半の売上げ不振が一部であったものの、基調としては横ばいの動きとなっている。
- ・ サービス業      基調としては横ばいの動きとなっている。

3 有効求人倍率(平成28年5月)

1.18倍 (前月と比べて0.04ポイント上昇)



4 離職者の状況(平成28年6月)

1社 11人(前年同期比 ▲ 2社、▲15人 前月比 ± 0社、▲2人)

※ 1社10人以上で、労働局、企業訪問等からの情報により把握した当該月の離職者数

5 平成29年3月新規高卒者職業紹介状況(平成28年6月末現在、秋田労働局発表)

- ・ 県内就職希望者数 1,616人(前年同期比 + 8人、+ 0.5%)  
( 県外就職希望者数 781人(前年同期比 + 3人、+ 0.4%) )
- ・ 県内就職希望率 67.4%(前年同期比 ± 0ポイント)
- ・ 県内求人数 2,311人(前年同期比 +167人、+ 7.8%)
- ・ 県内求人倍率 1.43倍(前年同期比 +0.10ポイント)

※平成29年3月新規県内大学等卒業者の就職内定状況については、11月下旬から公表予定

【参考】(1)平成28年3月新規高卒者の就職決定状況(平成28年6月末確定、秋田労働局発表)

- ・ 県内就職希望者数 1,546人(前年同期比 ▲52人 ▲ 3.3%)
- ・ 県内就職決定者数 1,546人(前年同期比 ▲52人、▲ 3.3%、決定率100.0%)
- ・ 県内就職決定割合 66.7%(前年同期比 ▲ 0.2ポイント) ※全就職決定者に占める県内就職決定者の割合

(2)平成28年3月新規県内大学等卒業者の就職内定状況(平成28年3月末現在、秋田労働局発表)

- ・ 県内就職希望者数 1,100人(前年同期比 ▲38人、▲ 3.3%)
- ・ 県内就職内定者数 1,093人(前年同期比 ▲20人、▲ 1.8%、内定率 99.4%)
- ・ 県内就職内定割合 47.2%(前年同期比 ▲ 0.4ポイント) ※全就職内定者に占める県内就職内定者の割合



## 地域ごとの状況

地 域	有効求人 倍率 (H28.5月)※1 (倍)	離職者数 (1社10人以上) (H28.6月) (人)	倒産件数 (H28.6月) (件)	平成29年3月新規高卒者 職業紹介状況 (H28.6月末現在)※2		
				県内就職 希望者数 (人)	県内 求人数 (人)	県内求人倍率 (%)
鹿 角	1.28			59 (45)	123 (109)	2.08 (2.42)
北秋田	1.16			210 (175)	333 (306)	1.59 (1.75)
山 本	1.12	11		127 (118)	170 (184)	1.34 (1.56)
秋 田	1.03		2	531 (590)	816 (712)	1.54 (1.21)
由 利	0.84		1	187 (148)	168 (248)	0.90 (1.68)
仙 北	0.91		1	259 (280)	316 (234)	1.22 (0.84)
平 鹿	1.11			119 (139)	236 (205)	1.98 (1.47)
雄 勝	0.87			124 (113)	149 (146)	1.20 (1.29)
計	1.18	11	4	1,616 (1,608)	2,311 (2,144)	1.43 (1.33)

※1 有効求人倍率の計は季節調整値。地域別の値は原数値(全数)

※2 平成29年3月新規高卒者職業紹介状況の( )内は前年度の数値